

社外取締役メッセージ

いかなる事業環境の変化にも対応できる企業へ



(株)ニチレイ 社外取締役

鵜澤 静

選任理由

日清紡ホールディングス株式会社代表取締役社長、会長を歴任。

経営者としての豊富な経験と財務・経理分野の幅広い見識を有しており、当社のグループ経営に活かしていただくため選任しました。2016年6月から当社社外取締役に就任。

ニチレイの社外取締役に就任して2年がたちましたが、非常に真面目で議論も活発にできる会社だと感じています。

私の社外取締役としての役割は、外部の視点から、内側にはなかなか見えない点について率直に意見を申し上げることだと考えています。私自身のこれまでの経営経験や財務・経理の知識を生かし、積極的に意見を述べています。

中期経営計画「POWER UP 2018」は順調に進捗しています。今後の課題は、事業の利益率を向上させる取組みと、海外展開の推進にあると考えています。

海外展開においては、リスクマネジメントの観点から欧米並みに契約管理を徹底するよう意識を高めることが重要です。加えて、現地で信頼できる人材を確保すること、経営陣が現地へ赴き従業員とコミュニケーションを図ることも大切だと思います。

また、一層力を入れてほしいと期待しているのが、ダイバーシティの推進です。まずは、女性社員が役員に就任するなど、若い世代のロールモデルになるような人材がどんどん出てきてほしい。そして、「女性の活躍推進」にとどまらない幅広い視点でダイバーシティをとらえ、性別や国籍、価値観も多様な人材が共に働くことで活性化する組織を目指してほしいと考えています。

加えて、将来の収益源について、さらに議論や取組みを進めていくべきだと考えます。ニチレイの扱う「食」は、人々の生活に密着しているだけに、簡単になくなるようなことはない事業分野だと思います。しかし、これだけ変化が速く、先が見通せない時代に、それに甘んじてはいられません。私が長く勤めた企業も、かつては衣食住の一つである「繊維」で発展した会社でしたが、海外からの安価な輸入品の拡大などもあり、現状では繊維関係の売上げは全体の1割にすぎなくなっています。そうした変化があり得るということを常に想定するべきです。

私は社外取締役として、株主や第三者の視点を持つとともに、いわば会社の「応援団」でもありたいと考えています。改めるべき部分についてはしっかりと指摘し改善を促しながら、ニチレイが健全で持続的に企業価値を高めていけるように後押しを続けていきたいと思っています。